

臨床研究情報

研究課題名	肝細胞癌に対する経動脈的処置（検査・治療）における橈骨動脈カテーテルアプローチ法の手技習熟・効果・安全性に関する調査
研究の内容	<p>【目的】</p> <p>肝細胞がんの診断・治療目的で行腹部血管造影検査において、最近私たちの施設ではカテーテルを手首の血管（橈骨動脈といいます）から挿入して行う方法を採用しています。これはその方が検査終了後のベッド上安静がなく、侵襲性が低いからです。当院においては2022年から行っていますが、今回、同様な手技を行なっている他の施設と共同して橈骨動脈からカテーテルを挿入して検査を行なった多くの患者さんで、手技の定着のし易さ、合併症の有無、患者さんの満足度などを調べます。</p> <p>【方法】</p> <p>●対象となる患者さん</p> <p>大阪赤十字病院で肝細胞がんの診断を受け、橈骨動脈からカテーテルを挿入して腹部血管造影検査を行なった患者さん。</p> <p>●利用する検体、カルテ情報</p> <p>検体：なし</p> <p>カルテ情報：患者さんの年齢・性別や持病の有無、検査にかかった時間、検査・治療の成否、合併症の有無などの情報</p> <p>【提供方法】</p> <p>過去に橈骨動脈からカテーテルを挿入して血管造影検査を行なった患者さんのリストから、カルテから上記の情報を調べます。</p> <p>【利用範囲】</p> <p>自施設</p> <p>【情報管理責任者】 大阪赤十字病院 喜多竜一</p> <p>【拒否機会の保障】 研究対象者の求めに応じて、情報の提供を停止します。</p> <p>【個人情報の取り扱い】</p> <p>この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、あなた自身のプライバシーに関する秘密はすべて厳重に守られます。データは匿名化を行いますので、名前などの個人を特定できる情報が報告に当たって使用されることは一切ありません。</p> <p>【外部への試料・情報の提供方法】</p> <p>研究データは電子メールやインターネットを通じて、又は郵送やFAX等により共同で研究を実施している他の施設へ提供致します。その場合も</p>

	<p>データは匿名化を行います。</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただ既にデータの解析が行われた場合や結果が公表された場合など、削除できない場合もあります。</p> <p>この研究は国の定めた指針に従い、当院の医療倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。</p> <p>大阪赤十字病院消化器内科部 〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-30 TEL 06-6774-5111 FAX 06-6774-5131</p>
対象疾患	肝細胞がん
当院研究責任者	大阪赤十字病院 喜多竜一
研究責任者	大垣市民病院・消化器内科 豊田秀徳
承認年月	2023年3月